

30分間研修レシピシート

研修内容	統計データの安全研修で効果的に使うには	
対象	安全大会等で。作業員	人数
目的	災害統計データから、死傷災害が明日は我が身を理解する	
使用ツール	配布資料	
受講後どうなっ て欲しいか	(誰が)	作業員 (いつから) 即日
	(どうなる)	自分と周りの人たちが、死傷災害にあわないために、準備や作業行動を決められたとおりに実行する。
大事なポイント (3つまで)	1	統計に上がっている数字一つ一つには、生活と人生があることを知る。
	2	自分がその数字に加わらないためにはの具体的方策を考える。
	3	
時間	内容	
5min	挨拶～研修内容のポイントの説明 1. 昨年度(平成29年)の統計データの確認 平成29年の死亡者、死傷者のデータ、業種別、事故の型別を紹介する。 平成29年では、死傷者、死亡者ともに前年度より増加していることを話す。 ただし数字の増減に目を向けるのではなく、現状まだ約1000人の方が労災で命を落としていることを強調。(さらに自分たちの業界ではどうかも強調)	
10min	2. 数字には見えないものを理解する 平成29年では、978人の方が死亡しているが、その周りに人間関係があることを強調する。(家族、友人、同僚など) 自分たちには、どのような人間関係があるかを想像し、もし私がいなくなった場合のことを想像する。	
15min	3. 事故の影響を考える もし自分が災害に巻き込まれたら、どうなるのかをグループ内で話し合う。 5分 影響の大きさ、残された人のことをしっかり強調する。 特に心残りになることはないかを強調	
20min	4. 事故にあわないためには 先ほど考えた心残りを起こさないために、具体的にできることを考える。 1. ルールを疎かにしていることはないか。 2. 作業場で、改善の余地はないか。 3. 家族や友人たちと、もっとやりたいことはないか。	
25min	これらを考える時間を作る。1と2は話し合い、3は個人で考える。 5分 統計データの数字が減になるのは、一人ひとりが毎日事故に合わないように行うことが重要だと強調する。	
30min	大事なポイントを繰り返し、終了。	